

C-300/P-300



取扱説明書

はじめに	1
安全上の注意	1
ご使用環境について	5
C-300/P-300の各部名称	6
C-300/P-300の梱包リスト	7
C-300/P-300のリフトの仕様	7
ハンドスイッチの取付方法	8
操作	
リフトの電源の入れ方	9
ハンガーを上昇/下降	10
レールに沿ってリフトを移動する	11
リフトの取り付け/取り外し	12・13
充電方法	14・15
LEDの状態表示	16
非常停止	17
非常下降	17
トラブルシューティング	18
お手入れ方法	19
保守点検について	19
メモ	20
保証書	裏表紙

はじめに

このたびは『PRISM』をお買い上げいただき誠にありがとうございました。

この取扱説明書には、PRISMの機能と操作方法、使用上の注意などが記載されております。

正しく安全にご使用いただくため、ご使用前に必ず本書をよくお読みになり、十分にご理解のうえ、ご使用ください。またお読みになった後もいつでも見られる場所に、大切に保管してください。

このマニュアルの内容は、書面による事前の通知なく変更する場合がありますので予めご了承ください。

安全上の注意

この取扱説明書及び製品本体にはお使いになる方や他の人への危害と財産の損失を未然に防ぎ、安全に正しくお使いいただくための、重要な内容を記載しています。

次の絵表示・図記号の内容をよく理解してから本文をお読みになり、記載されている事項をお守り下さい。

本説明書での表示方法

絵記号の意味



警告

誤った取扱いをすると死亡または重傷を負う可能性があることを示します。



注意

誤った取扱いをすると中程度の障害や軽傷を負う可能性、または物的損害のみが発生する可能性があることを示します。

図記号の意味



禁止の行為であることを告げるものです。
図の中や近傍に、絵や文章で、具体的な禁止内容が記載されています。



記号は行為を強制したり、指示したりする内容を告げるものです。図の中や近傍に、絵や文章で、具体的な指示内容が記載されています。

取扱い全般について

 警 告	
	<ul style="list-style-type: none">• 本説明書および注意銘板の内容を熟知しない人は、使用しないでください。• 本製品はベッドから車いすへの移乗、寝具の交換、排泄などにおける介護者の負担の軽減や、体のご不自由な方の自立を支援することを目的としています。これ以外の用途には使用しないでください。• ハンガーに吊り具以外のものはかけないでください。荷物や異なる形状の吊り具などを吊ると不安定な状態となり、怪我をする恐れがあります。

据付、取付について

 警 告	
	<ul style="list-style-type: none">• 走行レール、リフト本体、充電関連機器の据付は専門業者、専門知識のある人以外は絶対に行わないでください。• 本取扱説明書に記載されている環境以外では使用しないでください。• 充電器および充電コネクタは浴室内や放熱を妨げるものがある場所には設置しないでください。
	<ul style="list-style-type: none">• 走行レールの端にはストッパーを取り付けてください。• 設置する場所に十分な強度があることを確認してください。

運転と操作について

 警 告	
	<ul style="list-style-type: none">• 積載荷重C-300/100kg・P-300/100kg以上の荷重をかけないでください。• 過度の斜め吊りは行わないでください。• 吊り具から降りたのち、吊り具を首や手首等に引っかけたまま、操作を行わないでください。• 走行中、ストッパーに当てて止めることはしないでください。衝撃で怪我をしたり、機器を壊したりする恐れがあります。• 非常下降装置で降りるときは、一気に下へ降ろさないでください。• 本体に故意に水をかけたり、水中に落としたりしないでください。• 本機は浴室では、ご使用にならないでください。
	<ul style="list-style-type: none">• 必ず介護者の介護のもとにご使用ください。乗る方で自身で操作されると非常に危険です。• 乗る方で自身で操作される場合は、施設や病院で十分な訓練を行い、取り扱いに習熟した後、ご使用ください。また、異常時に緊急呼び出しができる手段を必ず設けてください。• 動かす前に、ハンガーに他のものが絡まっていないか、確認してください。ハンガーに吊り具を着脱するときは、ハンガーが振れないよう、手でおさえてください。おさえないと、思わぬ方向にハンガーが振れ、けがをする恐れがあります。• ベルト・シートを体に装着してリフトを上下する場合は、ベルト・シートの掛けひもがハンガーのフックに確実に掛かっていることを確認してください。外れたままリフトを上げ下げしますと、介護される方に苦痛を与えたり、リフトから落下し怪我をする恐れがあります。• 操作するときは、本機の動作を常に見ながら行ってください。見えない位置から操作すると、第三者や障害物に当たったり、引っかかったりし、怪我や器物破損の原因となる恐れがあります。• 本体やリモコンスイッチを水中に落とした場合、水に浸かった場合は、使用を止め速やかに代理店または弊社までご連絡ください。• その他異常を感じた場合は、速やかに代理店または弊社までご連絡ください。

運転と操作について

 警 告	
	<ul style="list-style-type: none">• リモコンスイッチに故意に水をかけたり、水中に落としたりしないでください。• 不必要な寸動操作（インチング）や急な逆転操作は行わないでください。• ベルトスリングが捻れた状態では、巻き取ったり、上昇させたりしないでください。• 非常下降装置は緊急時以外使用しないでください。
	<ul style="list-style-type: none">• 走行方向に障害物がないか確認してください。

保守点検と改造について

 警 告	
	<ul style="list-style-type: none">• 製品及び付属品の分解、修理、改造はしないでください。• 知識のある人以外は絶対に行わないでください。
	<ul style="list-style-type: none">• 保守点検および修理は、当社が認めた専門業者、または、当社が認めた専門知識のある人が行ってください。

ご使用環境について

 警 告	
	<ul style="list-style-type: none"> • 本体に故意に水をかけたり、水中に落としたりしないでください。 • 充電器および充電コネクタは浴室内や放熱を妨げるものがある場所には放置しないでください。
	<ul style="list-style-type: none"> • 万一本体やリモコンスイッチを水中に落とした場合、水に浸かった場合は、使用を止め、速やかに代理店または弊社にご連絡ください。

使用・保管条件	
温 度	- 40℃ ~ 70℃
相対湿度	10% ~ 100% RH
気 圧	500 ~ 1060Hpa

ご使用前の点検

 警 告					
	<ul style="list-style-type: none"> • 充電器の近くに、放熱を妨げるようなものは置かないでください。 				
	<ul style="list-style-type: none"> • 設置する場所に十分な強度があることを確認してください。 • 走行レールの端にはストッパーを取付けてください。 • 動かす前に、ハンガーに他のものが絡まっていないか、確認してください。 • 初めて使用する前に、人を乗せずに昇降、走行を行い、次のことを確認してください。 <table style="width: 100%; border: none;"> <tr> <td style="width: 50%;">* 円滑に昇降、走行するか</td> <td style="width: 50%;">* 異常な音や振動がないか</td> </tr> <tr> <td>* 障害物がないか</td> <td>* 本体及び充電器の表示灯が正しく表示されているか</td> </tr> </table> 	* 円滑に昇降、走行するか	* 異常な音や振動がないか	* 障害物がないか	* 本体及び充電器の表示灯が正しく表示されているか
* 円滑に昇降、走行するか	* 異常な音や振動がないか				
* 障害物がないか	* 本体及び充電器の表示灯が正しく表示されているか				

C-300/P-300の各部名称

- ① レール
- ② トロリー
- ③ リフト
- ④ ストラップ
- ⑤ QRSフック
- ⑥ ハンドスイッチ
- ⑦ 上昇ボタン
- ⑧ 下降ボタン
- ⑨ ハンガー
- ⑩ 充電器



C300/P-300の梱包リスト

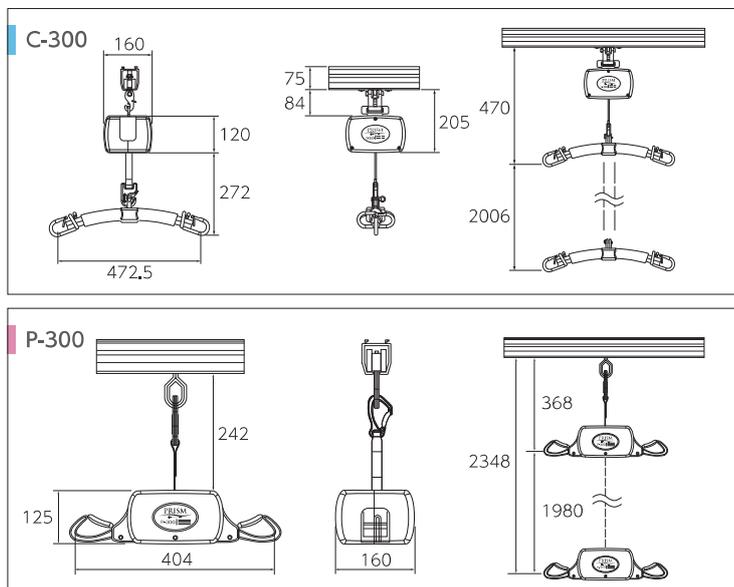
- C-300/P-300リフト本体
- 充電器
- 走行トロリー
- ハンドスイッチ
- 取扱説明書（保証書付）

注意 はじめてリフトを使用する際には、リフト本体を4時間以上充電して下さい。

C-300/P-300のリフトの仕様

リフトモータ：	24 VDC
充電器型式：	MPU32B-108
充電器入力/出力：	100-240 VAC、100 VAC : 0.6-0.4 A / 24 VDC、1.25 A
電池：	NiMH-24 VDC (2×12 VDC) 1.8 AH-カスタムバッテリーパック
リフトケース：	難燃性ABS
ハンドスイッチ：	デジタル(操作力：1.12ポンドまたは5N以下)
上昇範囲：	最大1960mm
本体重量：	C-300 2.6 kg / P-300 3.2 kg
最大荷重：	100 kg
使用サイクル：	1分間移動、9分間休止
定格性能：	満充電で、100kg荷重で約20回の昇降可能 (昇降ストローク610mm場合)
	注意：設置・使用環境により昇降回数は変動します。
最大騒音レベル：	最大荷重の上昇時C-300 56.1/P-300 57.6 dB、 最大荷重の下降時C-300 60.3/P-300 59.1 dB
耐用期間：	11000サイクルまたは5年のいずれか早い方
使用条件：	通常10-40° C、30-75% RH、700-1060 hPa

単位 mm



C-300/P-300で使用している記号

マーク	記号	参照	タイトル	マーク	記号	参照	タイトル
X		IEC 60417-5172	クラスII機器	X		IEC 604175840	タイプB適用部品
X		ISO 70000434	危険注意、付属の文書を参照のこと	X		ISO 7010-M002	取扱説明書/パンフレットを参照のこと
X		TUV	TUV認定	X		IEC 604175008	"OFF" POWER
X		IEC 604175007	"ON" POWER	X		IEC 604175011	"ON"/"OFF"
X		IEC 604175031	直流	X		NA	非常下降
X		NA	ハンドスイッチ接続口	X		NA	バッテリーレベルおよびシステムエラー表示のステータスLED
X		NA	CHARGER IN				

ハンドスイッチの取付方法



写真1- コネクターを正しい方向に合わせ差し込みます



写真2 - 正しく接続されたハンドスイッチ

コネクターを正しい方向に合わせ、カチッと音がするまで差し込みます。

ハンドスイッチをぶら下げた状態で移乗動作をしないでください。

以下のような場合、ハンドスイッチまたはユニット自体が損傷する恐れがあります。

- 1) ハンドスイッチを引っ張ってリフトを移動させた場合
- 2) 移乗途中で、ケーブルが何かに巻きついた場合
- 3) 介護者が持ち上げられる患者が、何らかの理由で接続口に過剰な圧力を加えた場合

リフトが正しく作動しない場合、ハンドスイッチが正しく接続されているかを確認して下さい。リフトに問題があれば、弊社認定の代理店に連絡の上、保守点検を受けてください。

▲ 注意：ハンドスイッチ接続口には、C-300/P-300ハンドスイッチ以外は接続しないでください。ユニットを損傷する恐れがあります。

操 作

▲警告：C-300/P-300リフトシステムを使用する前に、リフト本体、レール、スリング、ストラップ等に異常な摩耗や損傷がないか目視検査してください。異常があれば直ちに使用を中止し、販売店までご連絡をお願いします。無理な使用はご利用者様、介助者が死亡または重症を負う可能性があります。

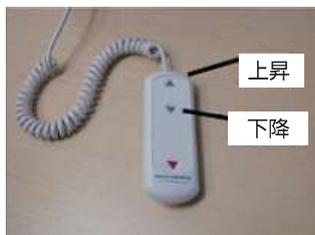
リフトの電源の入れ方



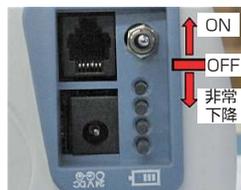
C-300



P-300



いずれかのボタンを押して電源を入れる



C-300

リフト裏側のレバースイッチを上げることで電源がONになります。スイッチには、「OFF」の「中」の位置、「ON」の「上」の位置、「非常降下」の「下」の位置の3つの位置があります。「ON」の状態ではハンドスイッチを押すと緑のLEDが点灯します。使用せずに30秒経過すると、ユニットは自動的にスリープモードに入ります。ハンドスイッチのいずれかのキーを押せば、ユニットの電源が入ります。

注記：電池切れの状態になれば、ユニットを充電することを推奨します。

注記：充電器には過剰温度検知と過電流レギュレーターが内蔵され、過剰充電を防止しています。

操 作

リフトを上昇/降下する



写真1 - 上昇/下降ボタンを押すと、ハンガー（本体）はストラップと共に、上下に移動します。

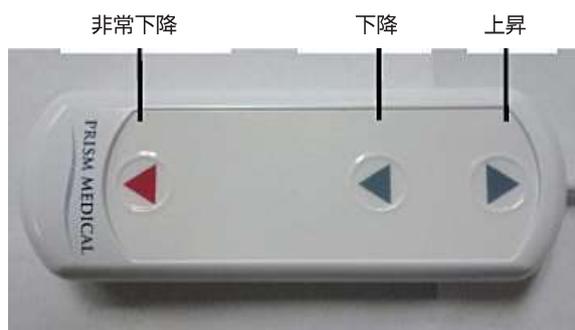


写真2 - ハンドスイッチの上昇/下降および非常下降ボタン

●上昇または下降ボタンを押し続けてください（写真1）。

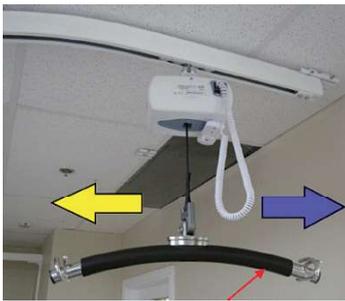
押し続けている間、ハンガー（本体）は上下します。

ボタンを離すとご希望の高さで停止します。

ハンガー（本体）を上下させる際にはハンガー（本体）が揺れて、ご利用者や近くの障害物に接触しないようご注意ください。

▲注意：通常の場合、介助者を下ろすために非常下降ボタンを使用しないでください。これは、非常時のみに使用するものです。非常下降ボタンを頻繁/目的外に使用した場合、ユニットの損傷につながる恐れがあります。

レールに沿ってリフトを移動する



C-300

軽く押すことでレールに沿って移動します。



P-300

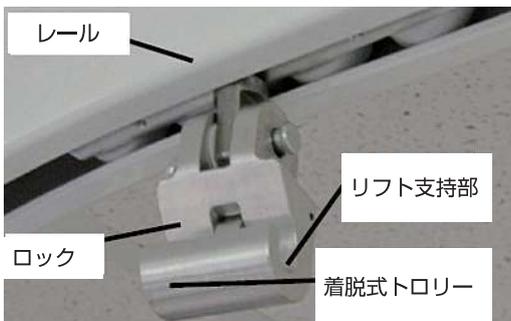
軽く押すことでレールに沿って移動します。

●リフト本体を手が届く位置まで降ろします。

ハンガーまたはスリングを装着した介助者の身体を行きたい方向へ軽く押すことでリフトはレールに沿って移動します。

▲注意：レールに沿って介助者を移動させる際には、障害物に十分に気をつけてください。スリングを装着した患者の傷害や、リフトの損傷につながる障害物に気を付けて、避けてください。

▲注意：介助者を持ち上げる場合、スリングストラップを使ってリフトを移動してください。この技術によって、介護者が肩を傷めるのが防止できます。



C-300用トロリー

リフトは、レールの内部に取り付けられたトロリーによって、レールに沿って移動します。各レールの場所に、このようなトロリーが設置されています。

トロリーのフックは、レールの下に吊り下げられ、リフトをレールに接続した場合、リフトを傾斜/回転できるように作られています。トロリーのホイールは、非常に小さい力で、リフトをレールに沿って移動できるように作られています。

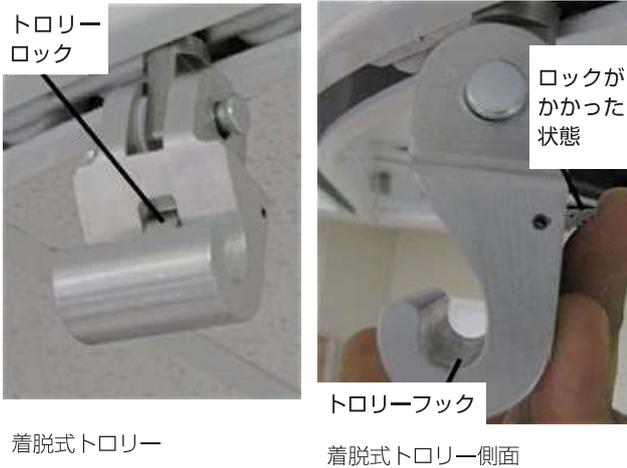


P-300用トロリー

リフトの取り付け/取り外し (C-300)

▲注意：リフトの着脱時は、安全に取り外しができる高さで行い、トロリーのロックが、写真に示すように、ロックが掛かった状態であることを確認してください。

着脱式傾斜/回転トロリーをロックする



リフトをトロリーフックに接続する



▲注意：リフトの取り付け/取り外しは、介助者の近くで行わないでください。

ロックが掛かった確認する



リフトを取り外す



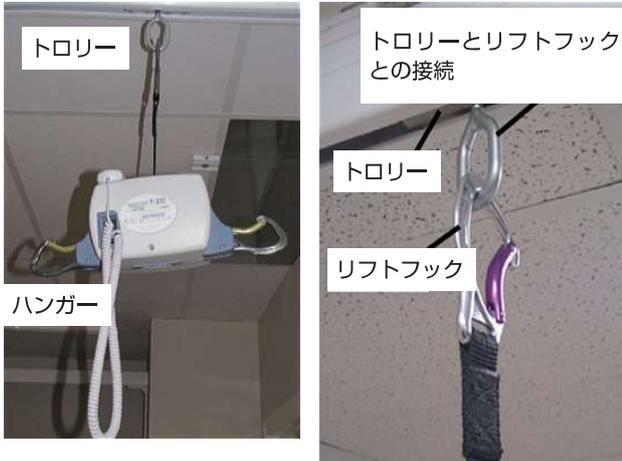
片手でリフトを持ちながら、ロックを押し上げ、リフトを傾けて、トロリーから取り外します。

▲注意：リフトを落とした場合、けがやユニットの損傷につながる恐れがあるため、取り付け/取り外し時は、リフトをしっかり持つように注意してください。

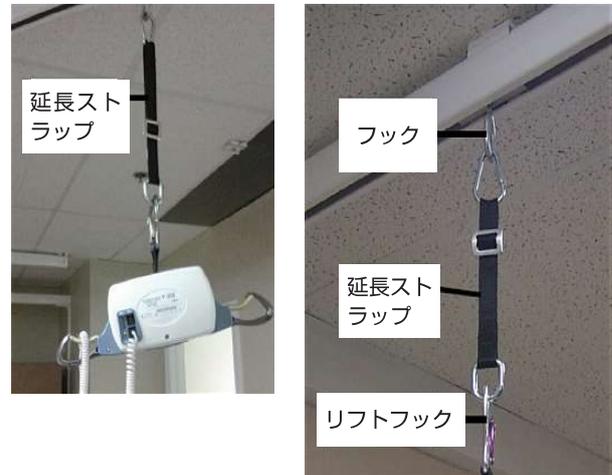
リフトの取り付け／取り外し (P-300)

▲注意：リフトフックがトロリーや延長フック、延長ストラップに正しく取り付けられていることを確認してください。リフトフックの安全ラッチは、ロックが掛かった状態でなければなりません。

トロリーに直接接続



延長ストラップとの接続



充電方法

充電ハンドスイッチを使って充電する

リフトの電池は定期的に充電してください。操作しない場合や、毎日の終わりにはリフトを充電してください。これによって、電池の寿命が最大限に活用されます。

充電器には過剰温度検知と過電流レギュレーターが内蔵され、過剰充電を防止しています。リフトを充電器に差したままでも大丈夫です。

ステップ1) ハンドスイッチを持って、ハンドスイッチの下側のゴムキャップを取り外します(写真2)。

ステップ2) プラグをコネクタに合わせて、充電器コネクタをハンドスイッチの入力プラグに挿入します(写真3)。リフト本体の2つのLEDが緑に点滅し始めます。

ステップ3) 充電が完了すれば、2つの緑のLEDが「緑」に点灯します。ゴムキャップを戻します。



写真1 - C-300/P-300リフトの充電器

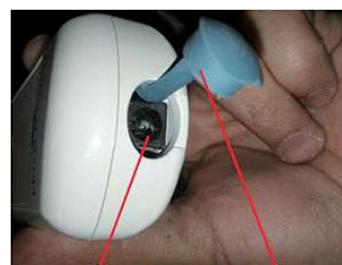


写真2
充電器入力
ゴムキャップを取り外した状態



写真3



写真4



写真5
充電が完了すれば、ゴムキャップを戻します。

充電器入力プラグを、ハンドスイッチソケットに合わせて、挿入します。
充電器をリフトに接続すると、リフト本体の表示灯が点滅し、充電の状態を表示します。
充電が完了すれば、上側の2つの緑のLEDが「緑」に点灯します。

▲注意：電池の寿命や性能が低下するため、電池切れ警報が出るまで、電池を使わないでください。

▲注意：充電ハンドスイッチを使用した後は必ず、ゴムキャップを戻して、開口部をカバーしてください。ゴムキャップを開けたままでは、ソケットから液体が侵入し、ハンドスイッチまたはリフト自体の損傷につながる恐れがあります。

本体に直接充電する



"DC"充電器接続口

本体に直接充電する



充電器"DC"
出力プラグ

充電器"AC"
コンセント
プラグ

リフトの充電器

リフトの電池は定期的に充電してください。操作しない場合や、毎日の終わりにには、リフトを充電してください。これによって、電池の寿命が最大限に活用されます。

充電器には過剰温度検知と過電流レギュレーターが内蔵され、過剰充電を防止しています。リフトを充電器に差したままで大丈夫です。

ステップ1) 机やカウンターの上など、リフトと充電器を、平らで安全な場所に置きます。表面は清潔で乾燥しており、子供の手が届かない必要があります。

ステップ2) 2分間使用しなければ、リフトは自動的にスイッチが切れます。

ステップ3) 充電器の"AC"コンセントのプラグを、近くのコンセントに差し込みます。

ステップ4) 充電器の"DC"出力プラグを持ちます。これは、ハンドコントロールコネクタの上側にあるソケット(リフト"DC"充電器接続口)に入るように作られています。

ステップ5) 充電器"DC"出力プラグを持って、リフト"DC"充電器接続口に接続します。ユニットの緑のLEDが点滅し始め、充電の状態を表示します。充電が完了すれば、上側のLEDが「緑」に点灯します。

充電切れになった場合



リフトの"DC"充電器接続口

"DC"充電器
出力プラグ

充電器をリフトに接続します。"DC"充電器出力プラグをリフト"DC"接続口に合わせてください。



リフトに接続された充電器ユニットの2つの緑の表示灯が点滅し始め、充電の状態を表示します。充電が完了すれば、上側の2つのLEDが「緑」に点灯します。

1時間充電後、充電器をリフトから外して、リフトを使用することができます。フル充電には、少なくとも4時間の充電を推奨します。

⚠注意：非常時に、充電器の切り離しが困難な場所に、リフトを置かないでください。

⚠注意："AC"コンセントの範囲を広げるために、延長コードを使用しないでください。

注記：ユニットは、充電器のプラグを抜くことによって、「電源」から電氣的に分離することができます。

注記：充電器に接続している時、リフトは作動しませんが、非常下降機能は機能します。

⚠注意：電池の寿命や性能が低下するため、電池切れ警報が出るまで、電池を使わないでください。

⚠注意：電源は、P/C-300システムの一部と見なされます。使用するのは、リフトに付属の充電器に限ります。他の充電器の使用は保証を無効にし、リフトの損傷につながります。

LEDの状態表示

注記：使用せずに10秒間経過すると、リフトが「スリープ」モードに入って電池の寿命を守るため、すべてのLEDが切れます。リフトの電源ボタンが"ON"の状態でも、このスリープモードに切り替わります。スリープモードになった場合、ハンドスイッチのいずれかのボタンを押せば、リフトの電源が入ります。

LEDの状態	説明
2つの緑のLEDが点灯 	電池がフル充電 写真2参照
1つの緑のLEDが点灯 	電池が50%～99%充電 注記：電池がフル充電でも、リフトを使用すると直ぐにこの状態になります。ほとんどのリフトは、このLEDの状態で使用されます。
橙LEDが点滅 	要充電の表示。写真3参照 使用を止め、充電を行ってください。
1つの赤いLEDが点灯(または点滅) 	電池切れです。上昇はできません。電池切れでも、下降および非常下降は可能です。写真3参照
1つの赤いLEDが点灯、持ち上げ時または充電時は点滅。	エラー状態を示します。19ページのトラブルシューティングをご参照ください。
すべてのLEDが"OFF"	スイッチが"OFF"またはスリープモード。ハンドスイッチのいずれかのボタンを押すと、スリープモードが解除されます。写真1参照

充電中のLEDの状態表示

リフトを充電器に接続すると、リフトの2つの緑のLED表示灯が同時に点滅し始めます。

1番目の緑のLEDライトが点灯すれば、リフトが75%充電されたことを意味し、2番目の緑のLEDライトも点灯すれば、フル充電の状態を示します。

リフトがフル充電されれば、両方のLEDが緑に点灯します。

リフトはバッテリー切れ後は、約1時間の充電で使用できますが、少なくとも4時間の充電を推奨します。充電中、UP/DOWN機能は使えません。非常下降機能は作動します。

リフトが2分間以上にわたって、自動的に切れない場合は、代理店までご連絡ください。



写真1 - スwitchがOFFまたはスリープモードの状態。表示灯は消えています。ハンドスイッチのいずれかを押しと電源が入ります。



写真2- リフトの電源が入ると、表示灯が緑に点灯します。



写真3 - LEDが橙または赤になると、リフトの電池が減っています。充電してください。

バッテリー切れ表示灯:
橙のLED

バッテリー切れ表示灯:
赤いライトが点滅

非常停止



C-300

ON (スイッチ"上") -通常のリフト操作
OFF (スイッチ"中") -非常停止/OFF
非常下降 (スイッチ"下")



非常停止ON/OFF
スイッチ

写真 - リフトの裏面左側にある非常停止スイッチ

リフトがハンドスイッチのボタンに反応しない場合や異常な動きをする場合、スイッチを"OFF"の位置に入れます。これによって、リフトのモーターへの電源が切れ、動きが直ちに停止します。

非常時に非常停止機能を使用した場合、リフトを使用する前に、弊社認定の代理店による検査が必要です。リフトの検査・修理が完了した後、非常停止ボタンを"ON"の位置に入れることができます。その後、リフトの通常の使用が可能です。



P-300

ON (スイッチ"上") -通常のリフト操作
OFF (スイッチ"中") -非常停止/OFF
非常下降 (スイッチ"下")

ON (スイッチ"上") -通常のリフト操作
OFF (スイッチ"中") -非常停止/OFF
非常下降 (スイッチ"下")

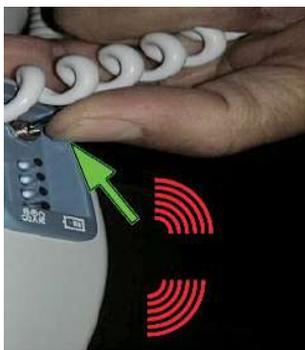
非常下降



ハンドスイッチの下側にある赤い非常下降ボタン

非常時にはハンドスイッチと本体裏側の非常降下スイッチを使って介助者を降ろすことができます。リフトが降下し始めるのに、約2秒間の遅れがあります。非常降下時は、警報音が鳴ります。

重要：非常降下システムには、上昇機能はありません。降下機能が故障した場合は直ぐ、弊社認定の販売店までご連絡ください。



リフトの正面左側にあるスイッチを下に押しします。



⚠注意：通常の状態、介助者を下ろすために非常降下ボタンを使用しないでください。これは、非常時のみに使用するものです。非常降下ボタンを頻繁/目的外に使用した場合、リフト本体の損傷につながる恐れがあります。

トラブルシューティング

C-300/P-300リフトの使用で問題が生じた場合、以下の表を調べてください。故障を見つけて、推奨される解決策を講じてください。故障が見つからない場合や、解決策で問題が修正できない場合は、弊社認定の代理店に連絡して、保守点検を受けてください。

故 障	推奨される解決策
上昇または下降しない	<ul style="list-style-type: none"> ○電源スイッチがONの位置にあることを確認 ○電源スイッチONであれば、ハンドスイッチが確実に差し込まれているか確認
持ち上げる際に、LEDが赤色で点灯し信号音（ピー音）が鳴る。	<ul style="list-style-type: none"> ○電池切れ、過剰温度、過負荷が発生している可能性があります。 ○電池切れの場合は、少なくとも1時間充電した後に運転が可能となります。 ○過負荷保護機能が働いている可能性があります。最大積載荷重が守られているか確認して下さい。 ○上記の確認後、一旦電源をOFFにし再びONにして下さい。 ○上記項目を確認しても現象が解消無い場合は、使用を中止して下さい。 * 無負荷の場合はバッテリー残量は表示されません。
充電時に、LEDが赤色で点灯する。	<ul style="list-style-type: none"> ○充電開始後、LEDが赤色で点灯する場合は、スイッチをOFFにして下さい。10秒間後、再度充電を行い、LEDの緑点滅となれば正常です。
十分な充電後、ハンドコントロールを正しく接続しても、リフトが上下に作動しない。	<ul style="list-style-type: none"> ○電源スイッチがONの位置にあることを確認 ○電源スイッチONであれば、ハンドスイッチが確実に差し込まれているか確認 ○上記項目を確認しても解消しない場合は、バッテリーの寿命の可能性があります。
リフトの正面左側にあるLEDが緑色で点灯しているが、リフトが方向に作動しない。	<ul style="list-style-type: none"> ○ハンドスイッチが確実に差し込まれているか確認 ○ストラップ緩み検出器が作動している可能性があります。リフトの出入口の約10センチ付近のストラップを持ち引き締めます。下降ボタンを押し正常に動作するか確認して下さい。頻繁に同様の現象が発生する場合は使用を中止して下さい。
連続して使用した後、ストラップの片側がほつれ始めている。	<ul style="list-style-type: none"> ○極端に斜め吊りになっていないか確認してください。斜め吊りになっている場合は、リフトの位置を介助者の真上に来るようにしてください。
充電完了後すぐに持ち上げると、LEDが橙色で点滅。	<ul style="list-style-type: none"> ○本機は、充電式ニッケル水素の電池パックを備えており、保持充電の観点から、フル容量に達する前に「コンディショニング」が必要です。新しい電池パックに推奨されるコンディショニングは、5回のフル充電/放電サイクルです。リフトを少なくとも1時間充電した後、上下に動かし動作確認をして下さい。新しい電池パックは、フル容量に達するのに、少なくとも5回の充電/放電サイクルを必要とします。
フル充電の後で最初に持ち上げる時、信号音（ピー音）が鳴る。	<ul style="list-style-type: none"> ○ニッケル水素電池は充電完了後、最初に持ち上げる時、浮動充電を保持する傾向があります。信号音が鳴れば、リフトを下ろし、無負荷でリフトを2～3回を上下に動かして下さい。信号音が解消しない場合は、使用を中止して下さい。

▲注意：介助者を持ち上げている状態ではトラブルシューティングを行わないで下さい。トラブルシューティングを行う際には、必ず介助者を降ろしてから行ってください。通常の下降の場合、非常下降は使用しないでください。

お手入れ方法

リフトは、湿らせた布や中性洗剤などを使って定期的に清掃してください。シンナーやベンジンなどの液体を使っての清掃はしないでください。

▲注意：リフトの内部に液体が入らないように、注意してください。リフトの内部に液体が入った場合は、機器の損傷や人的な傷害につながる恐れがあります。

保守点検について

日常点検

C-300/P-300リフトと付属品、スリングを使用する前に下記項目を目視で点検して下さい。問題があればリフトの利用を中止し、販売代理店へ連絡の上、必ず保守点検を受けて下さい。

- ストラップに、ほつれや切断の兆候がないか。
- ハンガーに接続するストラップの縫合部に、ほつれや切断の兆候がないか。
- 使用するスリングに、異常な摩耗の兆候がないか。リフトのハンガーに接続するスリングのストラップ部に、ほつれや切断の兆候がないか。
- ハンドスイッチのケーブルにもつれや、ねじれ、結び目、切断、損傷がないか。
- ハンドスイッチのすべての機能が正しく作動するか。
- レール固定ブラケットがしっかり固定され、動きや緩みがないか。
- ハンガーに亀裂やくぼみ、損傷がないか。
- ハンガーを上下に移動させる時、またはリフトを左右に移動させる時、リフトから異常な音や振動がないか。
- レールの各端部に、ストッパーが確実に取り付けられているか。

毎月点検

毎月点検では日常点検に下記項目を目視で点検して下さい。

問題があれば、リフトの利用を中止し、販売代理店へ連絡の上、必ず保守点検を受けて下さい。

- リフトが無負荷の状態を設置した全レールに対してスムーズに動作しているか。

定期点検（半年または年1回点検）

上記の点検にさらに専門的な点検を半年または年1回の定期点検を販売代理店と相談の上、契約を行ってください。リフトの使用頻度が高い施設や、体重の重い方を介助される場所では、半年ごとの定期点検を推奨します。